



HOT NEWS

鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修

異文化交流で広がる世界



町内の中学生を対象に、海外での生活を通して、語学や異文化を学ぶことを目的に行われている「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。今年度は、見中学校3年井上みな実さん、河野日菜さん、水田咲都さん、田島永遠さん、水田萌心さん、日吉中学校3年の松崎真生さん、宮本健斗さんの7人が参加し、8月16日から25日までの10日間、オーストラリアのダルビーで研修を行いました。

ホストファミリーやクラスメイトとの交流を通して、日本では味わえない貴重な経験や発見をしてきた7人。期待と不安を胸に旅立った海外で、充実した生活日々を送った生徒たちに、研修を終えての感想や、未来に向けての抱負を聞きました。

この研修では、特に「食」の違いについて多くのことを体験し、他国の食文化を学びました。オーストラリアでは、濃い味が好まれているためか、食卓にはさまざまな調味料が並んでいました。また、スーパーではあまり生魚を見かけませんでした。生魚は好き嫌いが分かっているようです。

そして、オーストラリアには「お世辞」という文化がないことを学びました。私は、YESと思ったらYES、NOと思ったらNOと言える人間になりたいです。しかし、日本はYESとNOの使い方の曖昧さが一つの美德と思うので、上手に使い分けができるようになりたいです。

見中学校 田島 永遠

研修では、目標としていた積極的なコミュニケーションができました。3日目以降は耳が慣れてきて、スムーズな会話ができました。その中で単語が出てこない時や、伝わらない時は、「ジェスチャー」が役に立ちました。

また、ほとんどの家が平屋建てであり、日本と比べはるかに広い敷地面積で、驚きました。

異国の文化を実際に体験し、今まで知らなかったことを知れたとともに、改めて日本文化の良さにも気付くことができました。

見中学校 水田 萌心

